

技術募集： 飲料中の亜硫酸量の測定技術

募集の目的

このプロジェクトでは、サントリーグローバルイノベーションセンターの依頼を受けて、飲料に含まれる亜硫酸の量を簡便に定量する技術を求めています。

提案書テンプレート

ダウンロード

得られるメリット

- 共同研究
 - 受託研究
 - 研究資金の提供
 - 技術ライセンスング
- 協業のための予算は確保済
(ご提案内容により相談)

提案書の提出

回答期限

2017年10月6日

コンタクト先

佐藤 佳邦

PhD2@ninesigma.com
03-3219-2006

■ 求める技術の概要

ナインシグマ社 (www.ninesigma.co.jp) は、サントリーグローバルイノベーションセンターを代理して、飲料に含まれる亜硫酸の量を簡便に定量する技術を求めています。

目標特性は下記の通りですが、現時点で達成されている必要はなく、飲食品向けの適用実績も問いません。サントリーとの共同開発により実現を目指して下さる研究者からの提案を期待致します。

目標とする測定技術

- 検出限界：1ppm 以下
- 検出精度：±0.1ppm
- ハイスループットであること

測定対象

下記成分を含有する液体試料

- 亜硫酸：0.1~20ppm
- アミノ酸：数 mM

想定する技術例

下記のような技術を想定していますが対象技術をこれらに限定するものではありません。

- 96 穴プレート等による一斉分析が可能な測定法
- 吸光/蛍光を用いた分析技術

一方、下記の技術は対象外とします。

- LC-MS/MS
- ヘッドスペース-GC-化学発光硫黄検出器

■ 技術を求める背景

亜硫酸の分析手法としては、滴定法・酵素法が一般的ですが、測定が煩雑なことや試料中のアミノ酸の存在による精度の悪化が課題となっています。そこで、サントリーは簡便かつ正確な測定方法の開発に取り組んでいます。今回、有力な研究者との協業により本課題の解決を加速するため、今回の技術募集を実施するに至りました。

■ 進め方

- 本件にご興味をお持ちいただけましたら、以下にリンクされている提案書テンプレートに記入し、ナインシグマ・ジャパン 佐藤く PhD2@ninesigma.com までお送りください。
*ご提案書には機密情報は含めないでください
([提案書テンプレート：REQ#181001](#))
- ご提供頂いたご提案書は、依頼主における評価がなされた後、追加で組織情報や技術情報のヒアリングをお願いすることもございます。
- 最終的に依頼主が有望と考える組織については、ご提案者の方に直接コンタクトし、その後、両者の直接の交渉に移ります。この段階において、協業の形態、期間、予算といった条件を直接協議いただきます。